

食傷・霍乱・溜飲 消化器の病気

食傷

「食傷(しょくあたり)」は食中(しょくちゅう)とも呼ばれ、腐ったものを食べた時に起こす腹痛や下痢、嘔吐などの症状のことで、食中毒も含まれていたと考えられます。

霍乱

「霍乱(かくらん)」は、嘔吐と下痢とが同時に起こる症状で、現在の急性胃腸炎と考えられています。幕末にはコレラも含まれていたと思われれます。

溜飲

「溜飲(りゅういん)」は消化不良ですっぱいげっぷが上がってくる症状を指し、現在の慢性胃炎ではないかといわれています。消化器に関する症状は、軽ければ市販の薬を服用しました。